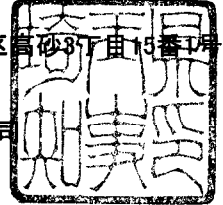


(様式第11)

平成 29 年 10 月 24 日

さいたま市長 様

申請者 住 所 埼玉県さいたま市浦和区高砂3丁目15番1号  
氏 名 埼玉県  
埼玉県知事 上田 清司



埼玉県立小児医療センターの地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、平成28年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒 330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂3丁目15番1号
氏 名	埼玉県

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

埼玉県立小児医療センター
--------------

3 所在の場所

〒 330-8777 埼玉県さいたま市中央区新都心1番地2	電話 ( 048 ) 601 - 2200
----------------------------------	-----------------------

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
— 床	— 床	— 床	— 床	316 床	316 床



5 施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室	(主な設備) 救急蘇生装置、心除細動除去装置、呼吸心拍監視装置、心電計、電解質定量検査装置、血液ガス分析装置、ポータブルエックス線装置、 病床数 64 床 ※PICU 14床、NICU30床、HCU20床 計64床
化学検査室	(主な設備) 生化学自動分析装置、血液ガス分析装置、血中アンモニア測定装置、グリコヘモグロビン分析装置、自動浸透圧分析装置、アレルギー測定装置、自動免疫測定装置、アミノ酸分析装置
細菌検査室	(主な設備) 感受性同定装置(マイクロスキャンウオークアウェイ)、血液培養装置(バクテアラート)、リアルタイムPCR、嫌気培養ボックス
病理検査室	(主な設備) 電子顕微鏡及び標本作成機器一式、病理蛍光顕微鏡、顕微鏡、ミクローム、凍結切片作成装置、自動染色装置、遠心機、自動免疫染色装置、ディープフリーザー、パラフィン溶融器、パラフィン伸展器
病理解剖室	(主な設備) 病理解剖設備一式、遺体安置冷蔵庫、ディープフリーザー
研究室	(主な設備) 遺伝子解析装置、細胞分離装置、マイクロアレイ、リアルタイムPCR、次世代シーケンサー、シーケンサー、染色体解析装置
講義室	室数 1 室 収容定員 150 人 (兼 研修室) パーティションにより 2室での使用可
図書室	室数 1 室 蔵書数 26,000 冊程度
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) 保有台数 3 台
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 58.2 m <sup>2</sup> [共用室の場合]

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

(様式第12) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績

1 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院紹介率	85.3 %	算定期間	平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日
地域医療支援病院逆紹介率	43.5 %		
算出根拠	A : 紹介患者の数	7,506 人	
	B : 初診患者の数	8,791 人	
	C : 逆紹介患者の数	3,825 人	

(注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(様式第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
			常勤 専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		

別紙1参照

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	4 床
専用病床	4 床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

## 重症救急患者の受入にかかる医療従事者名簿

1 / 14

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
1	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER、PICU、HCU勤務
2	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER、PICU、HCU勤務
3	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER、PICU、HCU勤務
4	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER、PICU、HCU勤務
5	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER、PICU、HCU勤務
6	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER、PICU、HCU勤務
7	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER、PICU、HCU勤務
8	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER、PICU、HCU勤務
9	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER、PICU、HCU勤務
10	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER、PICU、HCU勤務
11	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER、PICU、HCU勤務
12	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER、PICU、HCU勤務
13	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	29.00時間/週	ER、PICU、HCU勤務
14	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	29.00時間/週	ER、PICU、HCU勤務
15	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	29.00時間/週	ER、PICU、HCU勤務
16	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	29.00時間/週	ER、PICU、HCU勤務
17	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	29.00時間/週	ER、PICU、HCU勤務
18	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	29.00時間/週	ER、PICU、HCU勤務
19	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	29.00時間/週	ER、PICU、HCU勤務
20	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	29.00時間/週	ER、PICU、HCU勤務



# 重症救急患者の受入にかかる医療従事者名簿

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
1	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER
2	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER
3	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER
4	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER
5	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER
6	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER
7	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER
8	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER
9	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER
10	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER
11	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER
12	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER
13	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER
14	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER
15	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER
16	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER
17	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER
18	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER
19	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER
20	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	ER

# 重症救急患者の受入にかかる医療従事者名簿

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
1	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
2	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
3	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
4	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
5	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
6	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
7	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
8	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
9	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
10	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
11	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
12	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
13	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
14	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
15	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
16	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
17	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
18	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
19	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
20	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU



# 重症救急患者の受入にかかる医療従事者名簿

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
21	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
22	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
23	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
24	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
25	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
26	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	23.25時間/週	PICU 育児短時間勤務
27	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
28	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
29	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
30	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
31	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	23.25時間/週	PICU 育児短時間勤務
32	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	24.58時間/週	PICU 育児短時間勤務
33	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	23.25時間/週	PICU 育児短時間勤務
34	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
35	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
36	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
37	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
38	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
39	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU
40	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	PICU



# 重症救急患者の受入にかかる医療従事者名簿

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
1	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
2	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
3	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
4	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
5	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
6	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
7	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
8	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
9	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
10	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
11	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
12	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
13	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
14	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
15	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
16	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
17	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
18	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	19.58時間/週	HCU 育児短時間勤務
19	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
20	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU

# 重症救急患者の受入にかかる医療従事者名簿

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
21	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
22	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
23	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	24.58時間/週	HCU 育児短時間勤務
24	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
25	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
26	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
27	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
28	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
29	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
30	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
31	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
32	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
33	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
34	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
35	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
36	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
37	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
38	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	HCU
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		

# 重症救急患者の受入にかかる医療従事者名簿

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
1	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
2	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
3	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
4	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
5	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
6	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
7	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
8	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
9	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
10	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
11	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
12	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
13	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
14	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
15	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
16	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
17	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
18	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
19	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
20	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	23.25時間/週	

# 重症救急患者の受入にかかる医療従事者名簿

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
1	診療 放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
2	診療 放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
3	診療 放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
4	診療 放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
5	診療 放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
6	診療 放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
7	診療 放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
8	診療 放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
9	診療 放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
10	診療 放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
11	診療 放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
12	診療 放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
13	診療 放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
14	診療 放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
15	診療 放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
16	診療 放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
17	診療 放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
18	診療 放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
19	診療 放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
20	診療 放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	



# 重症救急患者の受入にかかる医療従事者名簿

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
1	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
2	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
3	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
4	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
5	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
6	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
7	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
8	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
9	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
10	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
11	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
12	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
13	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
14	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
15	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
16	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
17	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
18	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
19	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
20	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	



# 重症救急患者の受入にかかる医療従事者名簿

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
21	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
22	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
23	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
24	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
25	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
26	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
27	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
28	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
29	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
30	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
31	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
32	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
33	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
34	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
35	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
36	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
37	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	
38	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	29.00時間/週	
39	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	29.00時間/週	
40	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	18.50時間/週	



### 3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救急室	479.8 m <sup>2</sup>	(主な設備) 救急蘇生装置、呼吸心拍監視装置、心除細動除去装置	可
放射線技術部	757.9 m <sup>2</sup>	(主な設備) CT、MRI、一般撮影装置、超音波診断装置、血管撮影装置	可
検査技術部	608.2 m <sup>2</sup>	(主な設備) 生化学自動分析装置、血液ガス分析装置、感染症分析装置、血算測定、凝固測定	可
集中治療室 (新生児含む)	3,477.5 m <sup>2</sup>	(主な設備) 救急蘇生装置、呼吸心拍監視装置、心除細動除去装置	可
ハイケアユニット	1,304.1 m <sup>2</sup>	(主な設備) 救急蘇生装置、呼吸心拍監視装置、心除細動除去装置	可

### 4 備考

- ・救急病院（指定日 平成28年12月27日付）
- ・二次救急医療を24時間、365日実施している。

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。  
既に、救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について（昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局通知）に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

### 5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	1,302 人 ( 730 人)
上記以外の救急患者の数	2,698 人 ( 786 人)
合計	4,000 人 ( 1,516 人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。  
括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

### 6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	3 台
---------------	-----

(様式第14) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用（共同利用）のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

なし
----

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

共同利用病床、手術室、高度診断機器、病理解剖(受託)
----------------------------

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

- ア 共同利用に関する規定の有無  有 ・ 無  
イ 利用医師等登録制度の担当者 氏名：  
職種：事務

(注) 共同利用に関する規定がある場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
別紙2参照				

(注) 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	6 床
--------------	-----

## 登録医療機関の名簿

## 1. 当センターと同一の2次医療圏に所在する医療機関

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科	経営上の関係
木崎診療所		さいたま市浦和区木崎1-2-11	内科、整形外科	なし
山口クリニック		さいたま市南区南浦和2-44-9	呼吸器科	なし
西大宮病院		さいたま市大宮区三橋1-1173	内科、外科	なし
河野外科胃腸科		さいたま市大宮区三橋1-891-2	内科、外科	なし
村井クリニック		さいたま市見沼区東大宮5-27-6	内科、整形外科	なし
七里産婦人科医院		さいたま市見沼区風渡野271	産婦人科	なし
指扇病院		さいたま市西区宝来1295-1	内科、外科	なし
田中ファミリークリニック		さいたま市岩槻区鹿室987-1	整形外科	なし

(様式第15) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; display: inline-block;">別紙3参照</div>
--

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	34 回
(2) (1) の合計研修者数	1,795 (内当センター職員 404) 人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

- ア 研修プログラムの有無  有 ・ 無  
イ 研修委員会設置の有無  有 ・ 無  
ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役職等	臨床経験年数	特 記 事 項
				年	
				年	
				年	
				年	
				年	
				年	
				年	
				年	

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

#### 4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
講堂1	134.0 m <sup>2</sup>	机、椅子、パソコン、プロジェクター、音響設備 (主な設備) ※講堂1、2は、可動パーティションにより 仕切られており、2室併せた使用が可能。
講堂2	111.8 m <sup>2</sup>	
	m <sup>2</sup>	(主な設備)
	m <sup>2</sup>	(主な設備)
	m <sup>2</sup>	(主な設備)

## 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修実績（平成28年度）

## 1. 小児疾患集談会

開催日・場所	内 容	出 席 者
第127回 平成28年 6月10日 場所：小児医療センター	1. 症例検討 ①新生児科 ②精神科 2. 基礎講座 新生児に対する心臓手術	院外 20名 院内 38名 合計 58名
第128回 平成28年 9月16日 場所：小児医療センター	1. 症例検討 ①腎臓科 ②総合診療科 2. 基礎講座 地域医療とPICU	院外 16名 院内 35名 合計 51名
第129回 平成28年11月4日 場所：小児医療センター	1. 症例検討 ①感染免疫・アレルギー科 ②循環器科 2. 基礎講座 どこまでできる？小児内視鏡手術	院外 12名 院内 41名 合計 53名
第130回 平成29年 3月10日 場所：小児医療センター	1. 基礎講座 病理診断科 2. 教育講演 アレルギー免疫療法の現状～未来へ	院外 5名 院内 29名 合計 34名

## 2. 唇顎口蓋裂セミナー

開催日・場所	内 容	出 席 者
第5回 平成28年10月 3日 場所：彩の国すこやかプラザ	1. 診療を困難にする精神的な問題と対応の工夫 講師：当センター 精神科 2. 小児医療センター新病院の進捗状況 3. 症例検討	院外 30名 院内 13名 合計 43名
第6回 平成29年 2月13日 場所：小児医療センター	1. 成育医療研究センターでの口唇・口蓋裂治療の現状と 治療成績 講師：国立成育医療研究センター 2. 小児医療センター 院内見学会	院外 45名 院内 16名 合計 61名



### 3. 小児在宅看護研修会

開催日・場所	内 容	出 席 者
第13回 平成28年7月16日 場所：小児医療センター	テーマ 「第13回 気管切開と咽頭気管分離について」 1. 講演 ①「気管切開と喉頭気管分離について」 講師：小児外科	訪問看護ステーション 27名 特別支援学校 15名 2次医療機関 2名 院外計 44名 院内 18名 合計 62名
第14回 平成28年10月29日 場所：小児医療センター	テーマ 「第14回 小児期における栄養の管理と口腔ケアについて」 1. 講演 ①「小児期における栄養の管理と口腔ケアについて」 講師：摂食・嚥下障害看護認定看護師	訪問看護ステーション 29名 特別支援学校 17名 2次医療機関 3名 院外計 49名 院内 4名 合計 53名
第15回 平成29年2月18日 場所：小児医療センター	テーマ 「第15回 重度心身障害児に対するリハビリについて」 1. 講演 ①「重度心身障害児に対するリハビリについて」 講師：理学療法士	訪問看護ステーション 37名 特別支援学校 17名 2次医療機関 4名 院外計 58名 院内 6名 合計 64名

### 4. 小児在宅看護勉強会

開催日・場所	内 容	出 席 者

5. 小児がん医療従事者研修

開催日・場所	内 容	出 席 者
平成29年 2月 4日 2月 5日 場所：小児医療センター講堂	< 2月4日（土） 10:00～16:30 > 1. ①「小児がんの緩和ケア」 講義 講師：緩和ケア認定看護師 ②「痛みに使われている薬について」 講義 講師：緩和ケアチーム 薬剤師 ③「緩和ケアにおける薬物療法」 講義 講師：血液・腫瘍科医師 ④「小児の薬物療法時の看護」 講義 講師：小児看護専門看護師  2. 「小児の在宅緩和ケア」 特別講演 講師：あおぞら診療所新松戸  3. 新病院見学会（希望者のみ）	1. 79名        2. 81名   3. 50名
	< 2月5日（日） 9:30～16:30 > 4. 「小児がんの代表的な疾患の病態と治療」 講義 講師：血液・腫瘍科医師  5. 「臨床試験と治療プロトコールについて」 講義 講師：血液・腫瘍科医師  6. 「小児がん患者の教育・復学支援 ～ 教員の立場から～」 講義 講師：けやき特別支援学校  7. 「こんな時どうしたらいいの？ — 小児がん患者の支援についてディスカッションを しよう —」 グループワーク	4. 69名  5. 69名  6. 55名  7. 47名
		参加者総数 29施設 医療従事者・他 院外 84名 院内 26名 合計 110名

6-1. 研修会・講演（地域連携・相談支援センター）

開催日・場所	内 容	出 席 者
平成28年7月1日 場所：埼玉県立岩槻特別 支援学校	平成28年度関東甲信越地区特別支援学校病弱教育教頭会 「小児専門病院における医療ソーシャルワーカーの役割 教育現場との連携～」 講師：ソーシャルワーカー	教師 院外 20名
平成28年7月28日 場所：県民健康センター	平成28年度第1回埼玉県医師会主催 小児在宅医療研修会 「支援を要する子どもたちと跡地の活用 ー社会福祉の立場からー」 講師：ソーシャルワーカー	医師 院外 5名 院内 75名 合計 80名
平成28年7月29日 場所：埼玉県立岩槻特別 支援学校	病弱教育を考える会 「小児専門病院で活用される社会資源 ～医療ソーシャルワーカーの立場から」 講師：ソーシャルワーカー	教師等 院外 65名
平成28年8月4日 場所：マロウドイン大宮 会議室	日本医業経営コンサルタント協会 研修会 日本の高度医療を支える在宅医療～小児がん治療の最前線～ 「チャイルド・ライフ・スペシャリストという仕事について」 講師：チャイルド・ライフ・スペシャリスト	医師、薬剤師等 院外 40名
平成28年8月7日 場所：ホテルブリランテ	埼玉県立小児医療センターセミナー 「小児虐待対応の基本」 講師：ソーシャルワーカー	医師、看護師、 医学生 院外 15名 院内 18名 合計 33名
平成28年8月20日 場所：県民健康センター	埼玉県医療社会事業協会新人研修会 「Social Work in Hospitalの意味するところー私って何？」 講師：ソーシャルワーカー	ソーシャルワーカー 院外 37名
平成28年10月13日 場所：マロウドイン大宮 会議室	日本医業経営コンサルタント協会 研修会 日本の高度医療を支える在宅医療 講師：ソーシャルワーカー	医師、薬剤師等 院外 40名
平成28年11月21日 場所：東京八重洲ホール	関東甲信越地域小児がん医療提供体制協議会相談支援部会 「小児がん患者の復学支援～支援の実際：MSWの立場から」 講師：ソーシャルワーカー	ソーシャルワーカー 看護師他 院外 40名

開催日・場所	内 容	出 席 者
平成29年3月1日 場所：埼玉県発達障害総合 支援センター	地域連携懇談会 講演と症例検討 テーマ：小児在宅医療と地域包括ケアシステム 1 講演：埼玉医科大学総合医療センター 「小児の在宅医療－成育医療センターでの経験から」 2 症例検討会 ① 小児医療センター 新生児科医師 ② 小児医療センター 新生児病棟看護師 ③ 埼玉病院 小児周産期センター ④ 朝霞地区医師会・小児科医会	医師・看護師 ソーシャルワーカー等  院外 88名 院内 45名 合計 133名
平成29年3月4日 場所：With You さいたま 視聴覚セミナー室	埼玉県臨床検査技師会 研修会 「チャイルド・ライフ・スペシャリストってなあに？」 講師：チャイルド・ライフ・スペシャリスト	臨床検査技師 院外 15名 院内 15名 合計 30名
平成29年3月14日 場所：小児医療センター	埼玉県児童虐待医療ネットワーク事業研修会 1 事業概要 ① 埼玉県福祉部こども安全課 ② 小児医療センター ソーシャルワーカー 2 報告：医療機関における虐待対応チームの取り組み ① 小児医療センター附属岩槻診療所 ② 小児医療センター ソーシャルワーカー ③ 小児医療センター 看護師 3 講演：新しい時代を目指して ① おかだこどもの森クリニック	医師、看護師、 ソーシャルワーカー、児童 福祉士等  院外 98名 院内 25名 合計 123名

6-2. 研修会・講演（保健発達部門）

開催日・場所	内 容	出 席 者
平成28年6月13日 場所：埼玉県立宮代特別 支援学校	宮代特別支援学校自立活動情報交換会 「効果的な自立活動支援について」 講師：当センター 理学療法士	教師、生徒 20名
平成28年6月16日 19日 26日 場所：大宮ふれあいセンター (さいたま市)	さいたま市手話奉仕員養成講習会(入門コース)合同講義 「聴覚障害者のコミュニケーション」 講師：当センター 言語聴覚士	教師、保育士、 他40名
平成28年6月24日 場所：越谷市障害者福祉 センター	越谷市要約筆記者養成講習会特別講演 「耳のしくみ～聴覚障害に関する基礎知識～」 講師：当センター 言語聴覚士	教師、保育士、 他40名
平成28年7月18日 場所：埼玉県立蓮田特別 支援学校	埼玉県立蓮田特別支援学校 「呼吸のきほんと呼吸理学療法」 講師：当センター 理学療法士	教師 80名
平成28年8月1日 場所：埼玉県立蓮田特別 支援学校	蓮田支援学校 教職員研修会 「小児の言語・コミュニケーション発達とその支援」 講師：当センター 言語聴覚士	教師 80名
平成28年8月24日 場所：さいたま市文化 センター	地域連携講座：発達支援サポーター育成研修 及び 幼保から小学校へつなぐ特別支援教育研修 「発達障害への対応について作業療法士の立場から」 講師：当センター 作業療法士	保育士、 幼稚園教諭、 児童指導員等 100名
平成28年9月8日 場所：マロウドイン大宮 (さいたま市)	日本医業経営コンサルタント協会主催 『他職種連携の実践事例』 「高度医療を支えるリハビリテーション」 講師：当センター 理学療法士・作業療法士	医師、看護師等 40名
平成28年10月3日 場所：埼玉県立宮代特別 支援学校	埼玉県立宮代特別支援学校 「呼吸のきほんと呼吸理学療法」 講師：当センター 理学療法士	教師 30名

開催日・場所	内 容	出 席 者
平成28年10月20日 場所：ワッツルーム (さいたま市)	埼玉県理学療法士会南部ブロックさいたまエリア主催 「さいたま市の理学療法小児について」 講師：当センター 理学療法士	理学療法士 30名
平成28年11月30日 場所：埼玉県立かしのき 特別支援学校	埼玉県立かしのき特別支援学校主催 保護者研修会 「子どもの体について」 講師：当センター 理学療法士	教師、保護者 45名
平成29年2月13日 場所：埼玉県立宮代特別 支援学校	埼玉県立宮代特別支援学校主催 保護者研修会 「拘縮予防について」 講師：当センター 理学療法士	教師、保護者 30名
平成29年2月21日 場所：市民交流センター おあしす (吉川市)	ホームスタート ケーススーパーバイズ 講師：当センター 臨床心理士	保健師、保育士、 ソーシャルワーカー等 10名
平成29年2月25日 場所：地域医療教育センター (さいたま市)	WHO版サイコロジカル・ファーストエイド研修 講師：当センター 臨床心理士	医師、看護師等 20名

## 研修指導者名簿

(平成 28 年度)

氏名	職種	所属	職名	臨床年数	特記事項
	医師			39	責任者
	医師			35	
	医師			35	
	医師	総合診療科		34	
	医師	遺伝科		31	
	看護師	看護部		35	
	理学療法士	保健発達部		29	
	臨床心理士	保健発達部		18	
	臨床検査技師	検査技術部		36	
	薬剤師	薬剤部		36	
	栄養士	栄養部		27	

(様式第16) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	
管理担当者氏名	

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		<ul style="list-style-type: none"> <li>・総務担当</li> <li>・看護部</li> <li>・薬剤部</li> <li>・医事担当</li> <li>・病歴室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月別、年度別</li> <li>・日別、月別、年度別</li> <li>・患者番号</li> </ul>
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域連携・相談支援センター	月別、年度別
	救急医療の提供の実績	医事担当	日別、月別、年度別
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	総務担当	月別、年度別
	閲覧実績	医事担当	月別、年度別
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域連携・相談支援センター	日別、月別、年度別

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。



(様式第17) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	
閲覧担当者氏名	
閲覧の求めに応じる場所	病歴室
閲覧の手続の概要	
<p>・閲覧の諸手続きに則り、申請を受けたものについて、条例もしくは要綱に基づき適正に閲覧を認める。 なお、閲覧には当センターの職員が立ち会うものとする。</p>	

前年度の総閲覧件数		0 件
閲覧者別	医師	0 件
	歯科医師	0 件
	地方公共団体	0 件
	その他	0 件

(様式第18) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	1 回	
<p>委員会における議論の概要</p> <p>開催日時 平成28年10月4日(木) 13:30~15:00</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 委員及び当センター幹部の紹介を行った。</li><li>2. 委員改選につき、委員長の選出と副委員長の指名があった。</li><li>3. 協議・報告事項<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 運営状況 当センターの運営状況について報告があった。</li><li>(2) 診療状況<ol style="list-style-type: none"><li>(ア) 紹介の概要、外来・入院の概要</li><li>(イ) 内科系の各診療科の外来・入院の概要</li><li>(ウ) 外科系の各診療科の外来・入院の概要</li><li>(エ) 保健発達部門の概要</li><li>(オ) 地域医療支援病院の概要</li></ol></li></ol></li></ol> <p>各委員からの質疑を受け、以下の事項について説明を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・重症患者の受入れについて 12月27日午後3時より、救急診療開始予定である。</li><li>・移転に伴う一部の診療制限について 12月上旬から受入患者の制限をさせていただく予定であるが、移転までに軽快退院可能な患者については極力受け入れていきたい。</li><li>・新病院の役割について 小児の3次医療機関の役割を引き続き担っていく考えである。</li></ul> <ol style="list-style-type: none"><li>(3) 新病院及び跡地診療所について<ul style="list-style-type: none"><li>・当センターの新病院への移転および岩槻診療所の開設についてスライドを用い説明を行った。</li><li>・新病院での保健発達部門の外来について説明を行った。</li><li>・岩槻診療所において、小児在宅医療との連携の問題について委員長より情報提供があった。</li></ul></li></ol> <p>※この委員会の他、「埼玉県立小児医療センター診療連絡委員会要領」に基づき、開催された小児疾患集談会の席において、地域の医療機関と意見交換、情報共有を行った。 (平成28年度は4回開催)</p>		

(様式第19) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口・相談室・その他(病棟等)
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	職種: ソーシャルワーカー 氏名:
患者相談件数	10,680 件

患者相談の概要

平成28年度実績

【患者相談の主な内容】

- 1 医療費相談:健康保険・公費負担制度の活用援助、医療費支払いに関する相談
- 2 福祉相談:各種手帳・年金・手当・補装具・治療材料等各種制度活用援助
- 3 療養相談:受診援助・入院援助・療養上の問題調整
- 4 生活問題:家族問題調整・就労問題調整・住宅問題調整・日常生活援助
- 5 療育相談:療育援助・療育機関紹介(通所訓練施設・入所施設)
- 6 教育相談:障害児保育・就園・就学・特別支援教育相談
- 7 退院相談:退院に関する援助全般
- 8 虐待相談:乳幼児虐待(不適切養育全般)に関する相談・対応、関係機関との連絡調整
- 9 精神関連:患者・家族の精神科領域に関する相談援助
- 10 心理的相談:患者・家族の主として心理的な支援に関すること
- 11 成人期医療機関移行・生活相談:成人期に伴う医療機関移行及び生活相談

【講じた対策】

- 1 院内虐待対応チームの早期介入により、子ども虐待の予防に努めた。
- 2 外国人通訳ボランティアの導入により、外国人患者への適切な対応に努めた。
- 3 職員の「患者支援」、「患者との円滑なコミュニケーション」の意識付けを図るため、患者サポートチームを設置し、定例会(週1回)を開催した。
- 4 小児がん拠点病院として小児がん相談支援センターの専用の相談窓口について案内した。
- 5 退院支援地域連携チームを立ち上げ、病棟からの円滑な退院と地域関係機関との連携に努めた。

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないように配慮すること。

(様式第20)

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有 ・ 無
・ 評価を行った機関名、評価を受けた時期 ・ 機関名：日本医療機能評価機構 ・ 受審時期：平成21年2月 ・ 有効期間：平成21年5月17日～平成26年5月16日(Ver.5) ※次回は、平成31年2月に受審予定(一般病院2(3rdG ver. 2. 0)	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有 ・ 無
・ 情報発信の方法、内容等の概要 ・ 各研究会、研修会の案内 → 郵送、電子メール ・ 各月の診療スケジュール → 郵送、ホームページ ・ 小児医療センターだより → 郵送	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	有 ・ 無
・ 退院調整部門の概要 ・ 在宅支援相談室の看護師および地域連携・相談支援センターのソーシャルワーカーが、各病棟と連携している。また、患者家族と面談、地域の医療機関や施設とのカンファレンスを経た退院調整を行っている。	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	有 ・ 無
・ 策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 ・ 地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み ・ 小児患者の特性と疾患の特性を十分に考慮し、他の医療機関との連携による治療が可能と思われる症例について、地域連携パスの作成を検討していく。	